

## 平成 19 年度第 3 回理事会議事録

日 時：平成 19 年 6 月 22 日（金）  
12：15～13：00

場 所：静岡文化芸術大学

出席者：杉山、蓮見、青木（弘）、  
五十嵐、石川、大島、大平、  
國本、工藤（卓）、工藤（芳）、  
車、黒川、酒井、佐藤、白石、  
田村、生田目、中嶋、松岡、  
三橋、森田、両角、河原林、  
和田、國澤、阿部、八馬、  
小野、

委任状出席：青木（史）、植村、面矢、清水、  
久保、須永、永井、西川、  
原田、降旗、宮崎（清）、山中、

欠席者：岡崎、細谷、金

名誉会員：田中、宮崎（紀）、石井

### 1. 会長挨拶

杉山会長より挨拶がなされた。

### 2. 名誉会員挨拶

ご出席頂いた田中名誉会員、宮崎（紀）名誉会員、石井名誉会員から挨拶がなされた。

### 3. 平成 19 年度第 2 回理事会議事録の承認 （小野本部事務局幹事）

小野本部事務局幹事より平成 19 年度第 2 回の議事録案が提示され、承認された。

また杉山会長より、審議事項 10. 学会シンボルマークの色彩等について、会報などを通じて、会員に周知するよう要望がなされた。

## 【審議事項】

### 4. 平成 19 年度秋季企画大会について

（和田大会実行委員長）

和田大会実行委員長より 9 月 15 日に開催される平成 19 年度秋季企画大会について説明がなされた。テーマを「安心・安全のデザイン」として、基調講演は金沢美術工芸大学の荒井利春先生にお願いする予定であり、国

際ユニヴァーサルデザイン協議会の協力をいただき大会を進めていきたいとの報告がなされた。また学生の積極的な参加を促すような企画をいくつか用意しているとの報告がなされた。

### 5. 平成 20 年度春季研究発表大会について （國澤本部事務局長）

國澤本部事務局長から、平成 20 年度春季研究発表大会について、大会実行委員長を広島国際大学の井上勝雄会員にお引き受け頂き、広島国際大学で開催するとの報告がなされた。また開催校である広島国際大学は、大会を実行していくための人的リソースが決して十分でないため、多くの方の積極的な協力をお願いしたいとの要望がなされた。

### 6. 選挙管理委員の選出

（國澤本部事務局長）

國澤本部事務局長より、選挙管理委員の選出について説明がなされ、次期（平成 19 年 8 月 1 日から平成 21 年 7 月 31 日）選挙管理委員長を佐藤理事に委嘱することについて、審議がなされ、承認がなされた。選挙管理委員については、佐藤選挙管理委員長より選出頂き、理事会で審議を行う予定であるとの説明がなされた。

### 7. 会員の移動について

（八馬本部事務局幹事）

本部事務局に提出された書類を回覧、審査した結果、入会 [正会員 24 名（内外国人 10 名）]、退会 [正会員 3 名] が承認された。

## 【報告事項】

### 8. グッドプレゼンテーション賞の選考について

（工藤（芳）概要集編集委員）

工藤（芳）概要集編集委員から、大会までの時間の関係上、メールによる審議を行った結果、グッドプレゼンテーション賞の選考について承認がなされたとの報告がなされた。

### 9. 第 2 支部活動報告

（松岡第 2 支部支部長）

松岡第 2 支部長から、第 2 支部のこれまでの活動について、配布資料に基づき説明がなされた。

### 10. 第 5 支部研究発表会・懇親会、計画・案内報告 （車第 5 支部支部長）

車第 5 支部長より、昨年度に引き続き、第 5 支部研究発表会・懇親会を 10 月に開催するとの報告がなされ、参加者は第 5 支部に限らないので、より多くの方の方に参加して頂きたいとの要望がなされた。

### 11. 藝術学関連学会連合委員会報告

（黒川担当理事）

黒川担当理事から、藝術学関連学会連合の委員会にて、日本デザイン学会から提案していた建築系学会への参加呼びかけについて、建築史学会が正式に参加することとなったとの報告がなされた。

### 12. 日本デザイン学会トップページの バナーデザインの募集について

（生田目広報委員長）

生田目広報委員長より、さらに多くの学生の方に学会のホームページを閲覧して頂きたいとの意図から、トップページのバナーデザインの募集を行うとの報告がなされた（締切りは 9 月 21 日）。理事の方には、積極的に、学生に応募を呼びかけて頂きたいとの要望がなされた。

記録：小野

## 平成 19 年度第 4 回理事会議事録

日 時：平成 19 年 9 月 1 日（土）  
15：00～16：30  
場 所：筑波大学東京キャンパス  
G207 教室

出席者：杉山，青木（弘），蓮見，  
五十嵐，大平，中嶋，生田目，  
両角，和田，阿部，八馬  
委任状出席：石川，工藤（卓），森田，國澤，

### 1. 会長挨拶

杉山会長より挨拶がなされた。

### 2. 平成 19 年度第 3 回理事会議事録の承認

（八馬本部事務局幹事）

八馬本部事務局幹事より平成 19 年度  
第 3 回の議事録案が提示され，若干  
の表記修正を行うことで承認された。

### 【審議事項】

#### 3. 学会各賞について

（青木学会各賞選考委員会担当理事）

宮崎学会各賞選考委員長の代理として  
青木担当理事から平成 19 年度学会  
各賞の推薦状況，選考結果，選考事  
由の報告がなされた。学会賞 1 件，  
年間作品賞 1 件の推薦があったこと，  
学会賞の表彰は見送ること，年間作  
品賞に選考された宮沢氏らの「富山  
ライトレールのトータルデザイン」  
については 5 名の共著者を表彰対象  
とすることが確認され，承認された。  
また，まちづくりやインフラ施設な  
どの応募も視野に入れながら，人数  
の上限，担当内容の記載，組織名の  
表記などに関するルールを，作品審  
査・作品集編集委員会で検討するこ  
ととなった。

#### 4. 平成 19 年度秋季企画大会について

（和田実行委員長）

和田実行委員長から平成 19 年度秋季  
企画大会について，配布資料に基づ  
き進捗状況などの説明がなされた。  
大会名称は「秋季企画大会」を継続

することが確認され，承認された。

#### 5. 特集号発刊の報告と今後の企画につ いて

（阿部本部副事務局長）

工藤（卓）学会誌編集・出版委員長  
の代理として阿部本部副事務局長か  
ら，特集号発刊の報告と今後の企画  
について，配布資料に基づき説明が  
なされた。通巻 61 号～64 号の企画  
内容については，大会セッション報  
告に偏ることは好ましくないこと，  
部会や支部の提案を促したいこと，  
時流に見合った話題を盛り込みたい  
ことなどが指摘され，再度審議する  
こととなった。

#### 6. 会員の移動について

（八馬本部事務局幹事）

本部事務局に提出された書類を回覧，  
審査した結果，入会 [正会員 14 名（内  
外国人 1 名），年間購読会員 1 件]，  
退会 [正会員 9 名，賛助会員 2 件，  
年間購読会員 1 件] が承認された。

### 【報告事項】

#### 7. 選挙管理委員について

（阿部本部副事務局長）

佐藤選挙管理委員長の代理として阿  
部本部副事務局長から，選挙管理委  
員として井上全人氏（電気通信大学）、  
内山俊明氏（筑波大学）、小出昌二氏  
（拓殖大学）、長濱雅彦氏（東京芸術  
大学）が選出されたことが報告され  
た。

#### 8. 第 2 支部・第 5 支部活動報告について

（阿部本部副事務局長）

松岡第 2 支部長および車第 5 支部長  
の代理として阿部本部副事務局長か  
ら，配布資料に基づき各支部の活動  
報告および案内（春季研究発表大会  
オーガナイズドセッション「21 世紀、  
デザイン教育の再考」、第 5 支部研究  
発表会・懇親会）がなされた。

#### 10. ウェブの活用について

（生田目広報委員長）

生田目広報委員長より，学会誌編集・

出版委員会と作品審査・作品集編集  
委員会の協力により，各誌のフォー  
マットがダウンロードできるよう  
になったことが報告された。また，メ  
インイメージ画像の募集を各理事か  
ら学生に告知することが要請された。

記録：八馬

## 平成 19 年度第 5 回理事会議事録

日 時：平成 19 年 9 月 15 日（土）  
11：30～12：50  
場 所：湘南工科大学  
教育センター  
出席者：杉山、青木（弘）、蓮見、  
五十嵐、大平、清水、  
工藤（芳）、久保、佐藤、白石、  
須永、田村、中嶋、生田目、  
松岡、和田、国澤、阿部、  
八馬  
委任状出席：石川、植村、大島、岡崎、  
面矢、國本、工藤（卓）、車、  
黒川、酒井、永井、西川、  
原田、降旗、三橋、森田、  
両角、山中

### 1. 会長挨拶

杉山会長より挨拶がなされた。

### 2. 平成 19 年度第 4 回理事会議事録の承認 (八馬本部事務局幹事)

八馬本部事務局幹事より平成 19 年度  
第 4 回の議事録案が提示され、承認  
された。

## 【審議事項】

### 3. デザインシンポジウムについて

(松岡デザインシンポジウム担当理事)  
松岡デザインシンポジウム担当理事  
より、来年度にデザイン学会が幹事  
学会として開催するデザインシンポ  
ジウムの説明がなされた。暫定的に、  
開催時期は 11 月下旬、開催場所は  
慶応大学とすることで、他学会に諮  
ることとなった。

### 4. 会員の移動について

(八馬本部事務局幹事)  
本部事務局に提出された書類を回覧、  
審査した結果、入会〔正会員 12 名（内  
外国人 1 名）〕、退会〔正会員 1 名〕  
が承認された。

## 【報告事項】

### 5. 研究発表大会報告

(工藤（芳）概要集編集委員会委員)  
工藤（芳）概要集編集委員より、配  
布資料に基づき、第 54 回研究発表大  
会の発表キャンセルとグッドプレゼ  
ンテーション賞の結果が報告された。  
本報告を会報に掲載する際に、海外  
の発表者がキャンセルしたことを踏  
まえて、英文を併記することとなっ  
た。

### 6. 芸術学関連学会連合・シンポジウムテ マ募集について

(黒川芸術学関連学会連合担当理事  
代理國澤本部事務局長)

黒川担当理事の代理として國澤本  
部事務局より、配布資料に基づき、  
芸術学関連学会連合における来年度  
のシンポジウムテーマを募集してい  
ることが報告された。多くの芸術学  
関連団体が参加できるテーマを黒川  
担当理事、もしくは、芸術学関連学  
会連合に直接応募することが促され  
た。

### 7. IASDR 準備状況について

(山中 IASDR 担当理事代理  
國澤本部事務局長)

山中担当理事の代理として國澤本  
部事務局より、配布資料に基づき、  
日本から IASDR への投稿状況、  
ツアー計画、IASDR 理事会の予  
定が報告された。加えて、横断型基  
幹科学技術研究団体連合における活  
動状況も報告された。

### 8. 特集号の企画案について

(工藤（卓）学会誌編集委員会委員長  
代理阿部本部副事務局長)

工藤学会誌編集委員長の代理とし  
て阿部本部副事務局長より、今回の  
理事会での審議は見送り、次回の理  
事会であらためて審議することが説  
明された。

### 9. 第 5 支部研究発表会について

(田村第 5 支部副支部長)

田村第 5 支部副支部長より、第 5  
支部研究発表会の参加件数の報告と開

催の案内がなされた。

### 10. 日本デザイン学会の法人化について (國澤本部事務局長)

國澤本部事務局長より、学会の法人  
化を取り巻く状況が説明され、これ  
から 5 年の間に新しい制度の下で法  
人格を取得する必要があることが報  
告された。

### 11. アクレディテーションに関する JABEE の動向について (杉山会長)

杉山会長より、アクレディテーシ  
ョンについて JABEE に働きかけて  
いることが報告された。

### 12. デザインの継続教育について

(五十嵐理事)

五十嵐理事より、中国においてデザ  
イナーの資格認定を準備している様  
子が伺えるとの報告がなされた。

### 13. 平成 19 年度秋季企画大会の状況につ いて (和田秋季企画大会実行委員長)

和田実行委員長より、本日開催する  
平成 19 年度秋季企画大会について、  
学生プロポジションの参加が多く、  
盛況であることが報告された。

記録：八馬

## 平成 19 年度秋季企画大会報告

大会実行委員長 和田精二

### 「安心・安全のためのデザイン力」 ～同時開催～

「学生プロポジション in 湘南・学生の構想力」  
期日：平成 19 年 9 月 15 日（土）  
場所：湘南工科大学

平成 19 年度の秋季企画大会は、2007 年 9 月 15 日（土）、湘南工科大学（神奈川県藤沢市）において開催されました。今回、企画大会実行委員会は以下の 2 点を目標としました。(1) デザインにとって極めて今日的なテーマである安心・安全という問題を取り上げ、幅広い視点から討議を行う。(2) 初めての試みとして学部学生を中心としたパネルの展示・発表を同時開催することで、学会員になれない学部学生の発表と交流の場を創ることで今後の潜在的な会員予備軍である学生に対する動機付けを行う。

大会は、杉山会長からの「本企画大会が安心・安全という問題に対してデザインに何ができるかという点でひとつのきっかけになることを願います」という主旨の挨拶の後、年間作品賞表彰式が行われ、宮沢功氏他 4 名の「富山ライトレールのトータルデザイン」が表彰されました。LRT 車体のデザインのみならず、トータルな視点からデザインされており、地方都市の活性化に対する貢献に加えて、官民一体による街づくりの優れたモデルとなっていることが表彰理由でした。

引き続き、道具から街づくりまでユーザー参加型ユニバーサルデザインの実践的研究を実践中の荒井利春教授（金沢美術工芸大学）による「UD の現場から構想される安心へのデザイン力」と題した大会記念講演が行われました。安全のもつ科学的な側面と比較して、安心には心理的側面が強いが、安心を考えるにあたっては守りよりは攻めの感覚で概念をつくるべきこと、ユニバー

サルデザインの新しい原型をつくることを重要と考えていること、そのための教育、地域的活動が重要であること、以上を踏まえて具体的な研究事例の紹介がありました。ユーザー参加型のユニバーサルデザインプロジェクトを安心のデザインという観点からとらえると、デザイナーとユーザー相互の信頼関係や、可能性の予感の共有、タイムリーな連携性、地域的な持続的関係性といった「安心へのデザイン力」の構図が見えてくること等、具体的な事例による説明がありました。

学生によるパネル展示・発表をはさんで、シンポジウム「安心・安全のデザイン力」が、長谷高史教授（愛知県立芸術大学）の進行で実施されました。長谷教授から、本シンポジウムは環境デザイン研究部会における論議がひとつのきっかけとなって企画されたことが紹介された後、3 人のパネリスト、太田幸夫教授（多摩美術大学）、清水忠男教授（千葉大学）、土屋雅人准教授（湘南工科大学）によるプレゼンテーションが行われました。

太田教授は、ISO の図記号専門委員会では 30 年来、案内用、機器・装置用、安全・警告用の 3 分野で用いるピクトグラムの国際標準化が推進されてきたこと、なかでも安全・警告用図記号では長年の審議を経て「安全サインの通則と耐久性」と「避難誘導サインシステム」が最近国際規格となったが、それがそのまま国内規格になるようとしていることの問題点や非常口のピクトと避難場所のピクト、特に後者をどのようなデザインで全国展開するかについての問題等を説明しました。

清水教授は、学生と学外の多様な生活者で立ち上げた「デザインする会」の活動や地域住民とのワークショップ型デザイン開発事例等から、安心・安全のためのデザイン基盤は生活環境に対する生活者自身の理解にあることを発見したことを説明しました。

土屋准教授は、防災マップが注目されているが、研究室と地域市民団体が協働し防災マッププロジェクトを立ち

あげたが、膨大な手作業の効率改善視点から見直し GPS 機能つき携帯電話を利用した地図情報システムを導入し地域住民の地の利との相乗効果を狙った調査・制作方法を検討、地域に密着したデザインによる安心・安全運動として定着させた経緯を説明しました。

討議において、安心・安全はデザインのベースのため、各研究部会を横断し連携して追求していくべきテーマであることや、デザインは生活者としての意識を持てるため、現場にいて発見し、考えることが重要であること等の発言がされましたが、最後にこのシンポジウムを契機にデザイン学会としてこのテーマをどう考え行動していくかが問われていることを確認してシンポジウムが終了しました。なお、大会参加者 115 名（学生 66 名）、懇親会参加者 58 名（学生 30 名）、学生プロポ出展者 14 研究室、ボード数 30 枚という結果から企画大会実行委員会の当初の目標 (2) を達成できたものと判断しております。最後に：国際ユニヴァーサルデザイン協議会殿に、パネル 17 枚による協賛展示をお願いいたしました。この場を借り御礼申し上げます。



シンポジウムの様子



学生によるパネル展示・発表の様子

## 第2支部活動報告（第5報）

第2支部長 松岡由幸

平成19年11月12日（月）、19日（月）、12月3日（月）、10日（月）、17日（月）、慶應義塾大学理工学部矢上キャンパスにおいて、日本デザイン学会第2支部の2007年度第5回活動として「デザイン塾：最適デザインの理論」が開催されました。

本活動におきましては、エンジニアス・ジャパン アドバンスドテクノロジー推進室 室長、宮田悟志氏を講師としてお招きし、工学に基づくデザイン法としての最適デザインに関する理論をご講演いただきました。その主な内容としては、最適デザイン概念、最適デザインの対象、最適デザインのための数学モデル構築、最適デザインのアルゴリズム、多目的最適化問題への応用など、多岐に渡りました。各講演のさいごには演習も実施され、デザインに関わる研究・教育者（東京学芸大）、企業関係者（MOVE）、および学生等を含む約70名の参加者は、最適デザインの理論に関する基礎的知識の理解を深めることができました。

全5回におよび、最適デザインの理論に関する大変分かりやすいご講演を行っていただきました宮田悟志氏に、この場をかりまして厚く御礼申し上げます。



宮田悟志氏による講演の様子



会場の様子

## 第5支部活動報告

第5支部長 車政弘

第5支部では、平成19年10月13日（土）、九州産業大学にて、日本デザイン学会第5支部平成19年度研究発表会・懇親会を開催しました。

この研究会・懇親会は第5支部会員を含むすべての参加者に、大学間の枠を越えたデザイン学および関連領域の広い交流の場と位置づけ、同時に、学生の実習・演習課題等の展示発表を通じて、学生のプレゼンテーションテクニックの向上と意見交換の良い機会にしたいと考え、昨年に引き続き企画したものです。

研究発表会の形式に関しては、学部学生を除き、全国大会に準ずる規定で各2ページの発表概要の投稿を求め、また、当日の進行も同様に行うこととしました。

当日の参加者は会員15名、一般（大学院生含む）22名、学部学生21名、計58名の参加があり、口頭研究発表が24件、学部学生による口頭発表が2件、学生作品プロポジションが6件、計32件の発表が行われました。なお、部分参加者等を含めると約80名の参加がありました。

企画の段階では、1会場で参加者全員が発表を聴講できるという想定でしたが、発表申込み件数が多く、分野別に2会場並行での進行となりました。

研究発表会には、昨年に引き続き福

山大学、また広島国際大学からの参加があるとともに、新設の九州大学大学院デザインストラテジー専攻の大学院生による発表が多数行われたことも特記すべき事項です。発表の内容は、環境デザイン、工業デザイン、情報デザインと様々な領域に及び、活発な意見交換がなされました。

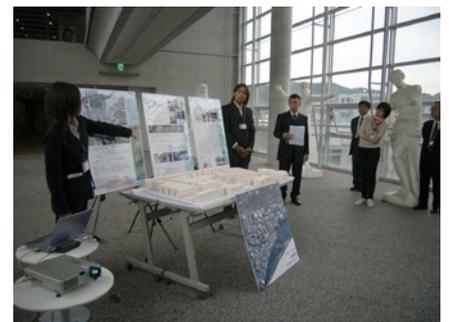
参加した学部学生からは「この国には、デザイン学の観点から取り組むべき課題が数多くあることがわかった。デザイン研究というものにさらに興味がわいた」といった感想が聞かれ、将来、研究者を目指す若い学生にとっても、有意義な研究会になったのではないかと思います。

尚、本会の内容は「日本デザイン学会第5支部平成19年度研究発表会概要集」としてまとめられています。

実行委員として第5支部のこの会を盛り上げていただいた第5支部の理事・幹事の皆様に、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。



口頭発表風景（九州産業大学芸術学部 15201 教室）



学部学生作品研究発表（美術館3F オープンスペース）

## 平成 19 年度学会各賞 選考結果報告

平成 19 年度学会各賞選考委員会  
本年度の学会各賞選考の結果を、下  
記のようにご報告いたします。

### ■ 会員等からの推薦状況

会員、論文審査委員会、作品集編集  
委員会より推薦された各賞候補件数

- ・学会賞：1 件
- ・年間作品賞：1 件

### ■ 選考結果

- ・年間作品賞：宮沢功 「富山ライトレール  
のトータルデザイン」

### ■ 選考事由：

- ・年間作品賞：宮沢功 「富山ライトレール  
のトータルデザイン」

地方都市の活性化を目指し、ライトレール  
という車体・駅舎・サイン等のデザ  
インのみならず、路線開発がトータル  
な視点に基づいてなされ、官民一体に  
よるまちづくりの優れたモデルとなっ  
ている点が、高く評価される。

日本デザイン学会  
平成 19 年度学会各賞選考委員会  
委員長 宮崎 清  
委員 青木弘行  
庄子晃子  
杉山和雄  
鈴木 邁  
中嶋猛夫  
原田 昭  
松岡由幸  
宮内 哲  
森 典彦

## 第 3 支部 研究発表会・懇親会のご案内

第 3 支部支部長 酒井正明  
担当幹事 中島 聡

第 3 支部では 3 月に以下のような目的  
の研究発表会・懇親会開催を計画して  
います。この研究発表会で口頭発表や  
ポスター発表される方を募集しますの  
で、是非ご応募ください。多数のご参  
加をお待ちしています。

目的：第 3 支部会員がどのようなデザ  
イン活動や研究を行っているのか  
を、発表会を通じて相互に知り合い、  
懇親会を通してより深い相互交流を  
図ります。また学会発表の、絶好の  
練習でもあります。

研究発表内容：発表テーマは自由とし  
ます。従って会員は、過去どのよう  
なデザイン、研究を行ってきたのか、  
これからどんなデザイン、または  
テーマを研究しようとしているのか

を、自己紹介を兼ねた、従来の学会  
研究発表会の形式にとらわれない、  
各自の自由な発表方法によって行い  
ます。

発表形式：口頭発表、ポスター発表  
発表会日時：2008 年 3 月 20 日（木）  
午前 11 時～午後 5 時

懇親会：午後 5 時 15 分～6 時 45 分  
（ポスター発表と併せて 1 時間半）

会場：名古屋市立大学芸術工学部  
M101 室

〒464-0083 名古屋市千種区北千種  
2 丁目 1 番 10 号

<http://www.sda.nagoya-cu.ac.jp/>

<問合せ先>

愛知県立芸術大学美術学部  
デザイン・工芸科

デザイン専攻 中島 聡

TEL：090-3387-3715

E-mail：QZB01425@nifty.com

## オーガナイズドセッション企画募集！

企画委員会では、広島国際大学で開催される第 55 回春季研究発表大会におけるオーガナイズドセッションの企画案を募集しています。今、学会で取り上げるべきだと思われるテーマの概要をお寄せください。

概要には、「テーマ名」、「意義・内容の概要」、「オーガナイザー・パネラーの案」を記してください。不明の点は空白でも結構です。振るって御応募ください。

企画委員会では、応募された案を基に調整して「オーガナイズドセッション」を確定する予定です。

<応募先>

〒167-0042

東京都杉並区西荻北 3 - 21 - 15 ベルフォート西荻 703

日本デザイン学会本部事務局企画委員会

E-mail：jssd@mx10.ttcn.ne.jp

締切り：2008 年 2 月 20 日

企画委員会

## 募集案内

### 安全工学シンポジウム 2008

#### 講演募集案内

安全工学シンポジウム 2008 が、下記のとおり開催されます。

- ◆開催日：2008年7月10日（木）・11日（金）の2日間
- ◆会場：日本学術会議講堂・会議室  
東京都港区六本木 7-22-34  
TEL：03-3403-6291
- ◆主催：日本学術会議総合工学委員会
- ◆講演申込締切：2008年3月14日（金）
- ◆講演申込方法：講演申込用紙を下記HPからダウンロードし、各項目を明記の上、下記、幹事学会宛（土木学会）に原則としてメールで送信してください。
- ◆講演予稿集原稿の提出：2008年5月16日（金）
- ◆講演申込及び原稿提出先：  
（社）土木学会事務局安全工学シンポジウム担当：岩西  
〒160-0004 新宿区四谷1丁目  
TEL：03-3355-3559 FAX：03-5379-0125  
E-mail：iwanishi@jsce.or.jp  
HP：<http://www.jsce.or.jp/committee/csp/csp1.htm>

## 催し物

### 第8回 グリーン・サステイナブル

#### ケミストリーシンポジウム

グリーン・サステイナブル ケミストリー (GSC) ネットワークでは、第8回 GSC シンポジウムを下記の通り開催いたします。本シンポジウムでは、産学官の関係者が一同に会し、「人と環境の健康・安全」を旨とした持続可能な社会の実現貢献する化学技術である GSC に関する最新情報を、講演ならびにポスター発表にて報告することにより、GSC を一層推進させることを目的とします。

- ◆主要テーマ：「持続可能な社会へ向けた GSC の実践と展望」
- ◆会期：2008年3月6日（木）・7日（金）
- ◆場所：学術総合センター  
一橋記念講堂（東京）
- ◆参加登録料：  
2008年1月31日（水）まで  
一般 15,000円、学生 7,000円  
2008年2月1日（木）から  
一般 18,000円、学生 9,000円  
※GSC ネットワークの web サイトから申し込んでください。
- ◆主催：25団体から構成される GSC ネットワーク
- ◆後援：経済産業省、文部科学省、環境省、日本学術会議、（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構、（独）科学技術振興機構 ほか（依頼中も含む）
- ◆連絡先：  
（財）化学技術戦略推進機構内  
GSC ネットワーク事務局  
〒101-0051 千代田区神田神保町1-3-5  
TEL:03-5282-7272 FAX:03-5282-0250  
E-mail:gscn@jcii.or.jp  
HP：<http://www.gscn.net/>

### ドイツポスター 1890-1933

19世紀から20世紀への転換期にドイツで刊行された美術雑誌『パン (PAN)』や『ユーゲント (Jugend)』、1919年から1933年にかけて美術と建築に関する総合的な教育を行ったバウハウスのグラフィック・デザインは、すでに第二次世界大戦前から日本ではよく知られていま

した。本展は、美術図書館（ベルリン）、ディ・ノイエ・ザンムルンク（ミュンヘン）など、国内外から集められたポスター、雑誌、関連資料など約170点によって、1890年から1933年にかけてのドイツにおけるポスターの魅力と先進性を多角的に検証しようとするものです。

- ◆会期：2008年2月26日（火）  
～3月30日（日）※月曜休館
  - ◆会場：京都国立近代美術館  
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町（岡崎公園内）電話 075-761-4111
  - ◆主催：巡回各館、読売新聞社大阪本社、読売テレビ
  - ◆後援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、京都ドイツ文化センター（以上申請中）、日本グラフィックデザイナー協会、日本デザイン学会
  - ◆協賛：ビーバンジョア
  - ◆特別協力：竹尾
  - ◆協力：ルフトハンザ ドイツ航空、Lufthansa Cargo AG、白木屋画材額縁店
  - ◆助成：ポラ美術振興財団
- ※京都展終了後、豊田市美術館（4/29～6/1）、宇都宮美術館（11/23～12/28）へ巡回します。

### COLOR SESSION 2008

本見本市の第二回目の開催となる COLOR SESSION 2008 は、カラーデザインや質感に優れた製品と、それを高めるためのソリューションを一堂に会し、使う側と提供する側の交流を促進し、新たなビジネスチャンスを創出します。

- ◆会期：2008年4月10日～12日（土）  
10:00～18:00（最終日16:30まで）
- ◆場所：東京ビッグサイト西1ホール
- ◆入場料：無料・登録制
- ◆主催：（財）日本ファッション協会
- ◆後援：経済産業省、日本商工会議所、東京商工会議所、日本色彩学会
- ◆連絡先：COLOR SESSION 事務局  
株式会社 美研インターナショナル内  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-7-7  
住友不動産青山通ビル9階  
TEL 03-5766-9291 FAX 03-5766-9292  
E-mail:info@color-session.com  
HP：<http://www.color-session.com>

## 献本御礼

### ◆寄贈図書

- ・ 時代精神と建築 - 近・現代イギリスにおける様式思想の展開, 近藤存志, 知泉書館
- ・ 現代教会建築の魅力 - 人はどう教会を建てるか, 近藤存志, 教文館
- ・ 漢字遊び解体新書, 馬場雄二, 大修館書店

### ◆機関誌

- ・ KUMAGAI UPDATE, No. 63, (株)熊谷組, 2007
- ・ 木の文化 FORUM, 2007年 第4号,
- ・ 横幹 Vol.1 No.2 Oct.2007, 特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合
- ・ TC 協会ニュース第80号, 2007年, テクニカルコミュニケーター協会
- ・ たまび News, No. 48, Winter, 2008, 多摩美術大学
- ・ FUKUI Convention Express, vol.6, 2008, 財団法人福井観光コンベンション協会
- ・ HIROSHIMA KANKO CONVENTION, Vol. 69, JAN.2008, 財団法人広島観光コンベンションビューロー

### ◆予稿集・論文集・報告書

- ・ 安全工学シンポジウム2007 講演予稿集, 日本学術会議総合工学委員会
- ・ デザイン理論 第51号, 意匠学会, 2007
- ・ 特色GP「アート・デザイン教育による3Cの育成」活動記録「Art Design Produce 2005」, 「Art Design Produce 2006」, 筑波大学
- ・ 造形学研究所 所報 2007年 03号, 愛知産業大学造形学部
- ・ 長野県工業技術総合センター 研究報告, No.2, 2007, 長野県工業技術総合センター
- ・ 石川県立工業高等学校 創立120周年記念美術工芸所蔵作品図録

## 会員の移動

### ◆平成19年度第4回理事会承認

2007.9.1

#### <新入会>

\*正会員 14名 (内外国人1名)

赤間 隼太 池田 絵里子  
梅本 良作 菅野 洋介  
小山 慎一 酒井 洋平  
佐藤 史規 谷口 政男  
津田 光明 筒井 亜湖  
平田 茉衣 福田 英昭  
横山 稔 Min-Young Choi

\*年間購読会員 1件

首都大学東京 産業技術大学院図書館

#### <退会>

\*正会員 9名

浅倉 卓也 石黒 教子  
小野 清 小島 茂  
桜井 恵三 佐々木 夕介  
林 勉 林 友彦  
八重樫 康治

\*賛助会員 2件

ジレットジャパン  
(株)NECデザイン

\*年間購読会員 1件

紀伊國屋書店広島営業所

### ◆平成19年度第5回理事会承認

2007.9.15

#### <新入会>

\*正会員 12名 (内外国人1名)

大西 康伸 樺田 雄輝  
佐藤 圭一 白石 英里  
滝澤 功 土岐 謙次  
森津 智行 宮崎 隆紀  
山田 香織 綿貫 啓一  
吉原 輝美 BumKyu Kang

#### <退会>

\*正会員 1名

松平 真義

### ◆平成19年度第6回理事会承認

2007.12.15

#### <新入会>

\*正会員 14名 (内外国人2名)

東 大輔 足立 邦登  
梶間 充子 倉賀野 哲造

倉持 淳子

酒巻 隆治

辻村 博志

山口 治美

楊 平

#### <退会>

\*正会員 12名 (内外国人1名)

有岡 保行

魚住 悠

金田 大輔

黒瀬 陽代

都築 邦春

山本 啓子

近藤 裕樹

鈴木 理恵子

山口 瞳

横溝 賢

李 佩穎

伊藤 春樹

梅沢 ひとみ

木島 玲子

高野 俊子

鶴 和也

ANTOINE ABI AAD

# 第 55 回 日本デザイン学会 春季研究発表大会のご案内

大会実行委員会委員長 井上勝雄  
副委員長 関口 彰

既に会報等にて告知しておりますとおり、第 55 回春季研究発表大会を下記要領にて開催することになりましたのでご案内申し上げます。多数の会員各位のご参加、ご発表をお待ちしております。

## 記

日 程：平成 20 年 6 月 27 日（金）から 6 月 29 日（日）

会 場：広島国際大学 東広島キャンパス（J R 西条駅下車、バス約 35 分）  
〒 739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台 555-36

### ■大会スケジュール（予定）

- 6 月 27 日（金）：総会、各賞授賞式、基調講演  
（大学内の迎賓会場：2 号館 8 階）  
見学会（酒蔵めぐりの予定）
- 6 月 28 日（土）：「口頭研究発表」と「ポスターによる研究発表」  
（発表会場：2 号館と 3 号館）  
懇親会（大学内の迎賓会場）
- 6 月 29 日（日）：「口頭研究発表」と「ポスターによる研究発表」

### ■大会テーマ： 心『こころ』とデザイン

- 基調講演：広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 杉山政則 教授  
「酒どころ広島から生まれたバイオサイエンス」  
— 広島大学と地元企業との産学共同開発プロジェクト（ビオユニブ広島） —

- 参加費等：事前支払いの場合、（ ）内の当日支払い金額より 1,000 円安くなります。
- <大会参加費>  
会員 7,000 円（8,000 円）、非会員 8,000 円（9,000 円）、学生 4,000 円（5,000 円）
- <大会発表費>  
4,000 円（5,000 円）
- <懇親会費>  
会員 6,000 円（7,000 円）、非会員 7,000 円（8,000 円）

※詳細や変更につきましては、学会ホームページ、もしくは次の会報（3 月 31 日発行予定）にてお知らせいたします。

# 第 55 回 春季研究発表大会の発表申込に関するお知らせ

発表申込・概要集編集担当：岡崎 章、工藤 芳彰

本年6月末に広島国際大学で第55回春季研究発表大会が催されます。研究発表の役割は、質疑応答によって得られる新たな視点や知識の獲得にあります。今回も例年どおり、通常の研究発表（口頭発表とポスター発表）の他、部会統括の口頭発表（テーマセッション）や優秀な研究発表に対する表彰を設定しておりますので、奮ってお申し込み下さい。なお、発表要領や概要フォーマット等の詳細は、2月初旬に学会ホームページ（<http://www.jssd.jp/>）に掲載の予定です。各自ご確認のほどよろしく申し上げます。

## ■発表申込に関する概要

発表日程：平成20年6月28日（土）、29日（日）

発表形式と時間（予定）：口頭発表20分（含む質疑応答）、ポスター発表（1時間）

概要形式：A4・2ページ（英文概要の場合は日本語要約を掲載）

申込方法：学会ホームページ経由 J-Stage 利用

申込受付期間：平成20年3月13日（木）～27日（木）

※ **原則として期限を過ぎた申込は受け付けできません**ので、ご承知おき下さい。

なお、Web投稿が出来ない方は、本部事務局（[jssd@mx10.ttcn.ne.jp](mailto:jssd@mx10.ttcn.ne.jp)）にご照会ください。

## ■テーマセッションについて

テーマセッションは、部会がテーマや発表順等を統括する口頭発表枠です。どの部会が参加しているのか、どのようなテーマが提示されているのかについては、2月上旬に学会ホームページ上で公開されます。参加をご希望の方は、専用サイトでの発表申込の際に「発表分野」のプルダウンメニュー中に部会名とテーマが列記されますので、該当するものを選択してください。

## ■発表申込後のスケジュール

発表採否の連絡：4月中旬予定

発表日時と会場のお知らせ：5月中旬予定

ホームページ上での概要公開：6月上旬予定

■この件に関するお問い合わせ先：[jssd@id.takushoku-u.ac.jp](mailto:jssd@id.takushoku-u.ac.jp)